

みんな違って、みんないいーLGBTについて学習しよう①ー

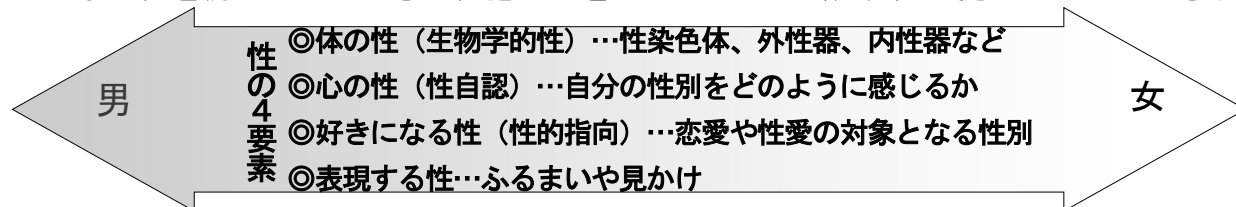
詩人金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」の一節に「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」という文章があります。民主主義社会の中では、物事が多数決で決められていくことが常ですが、人間の「性」について考えると、決して多数が「良し」ではなく、みんな「良し」なのです。とはいえ、性についての悩みがある人は教育相談室へ！

♥♥♥LGBTって知っていますか？（日本に約965万人※います）♥♥♥

※【出典】電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」(2015)

LGBTとは、Lesbian（レズビアン＝女性同性愛者）、Gay（ゲイ＝男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル＝両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー＝体と心の性が不一致の人）の頭文字をとったもので、セクシャルマイノリティ（性的少数者）の総称の一つです。今回から数回にわたり、LGBTについて学習しましょう。

通常、性別は、母親の胎内で受精した瞬間に、XX（女性）、XY（男性）に分かれます。しかしながら妊娠8週以前までは、男性と女性の性器は全く同じで、妊娠8週目頃からXYの方は精巣が、XXの方は卵巣が作られ始めます（分化）。さらに、XYでは、妊娠20週目頃、精巣から作られた男性ホルモンを大量にシャワーのように浴びることによって、脳が「自分は男性である」と認めることができるようになります。（XXの場合は、もともと母親から女性ホルモンのシャワーを浴びています。）このときに出る男女のホルモンの量が、将来自分が男性または女性として生きていくための心の持ち方に深く関わっているのです（脳の性自認）。つまり、男性としての性器を持って産まれてきても、胎内で十分な男性ホルモンのシャワーを浴びなければ、脳は自分を女性として認識することになります。つまり、科学的にみると、男性と女性は、はっきり区別されたものでなく、連続していると考え、誰もが違っていいもの（個性）と捉えることができます。



☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と11月の相談日》

- 田邊 美和子先生（本校教育相談専門員）
毎週火曜日、木曜日 午後12時30分～17時30分
- 堀 智哉先生（各務原病院 臨床心理士）
毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時（11月9日、23日、30日を除く）
- 鷺見 栄子先生（社会福祉士）
11月7日（水）、14日（水）、21日（水）、28日（水）午後2時～4時

☆生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係（教育相談室：本館3階）、養護教諭（保健室：本館1階）の先生のいずれかに申し込んでください。

★保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。お申し込みは、定時制教育相談係（花林・服部・栗本）までお願いします。

電話番号は（058）275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。

★本校の特別支援教育コーディネーターは、服部と栗本です。何かございましたら、遠慮なくご相談ください。